



各 位

平成23年5月16日

会社名 ゼット株式会社
代表者名 代表取締役社長 渡辺裕之
(コード番号 : 8135 大証第2部)
問合せ先 専務取締役管理統括本部長
山下龍美
(TEL. 06-6779-1171)

特別損失の発生及び業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

当社は下記のとおり特別損失を計上することになりましたので、その概要をお知らせいたします。
また、平成22年11月9日公表いたしました平成23年3月期通期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の業績予想値と、本日発表いたします平成23年3月期通期の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上及びその内容

(1) 事業構造改善費用

希望退職者の募集に伴う退職割増金等の費用など、連結で184百万円、個別で148百万円を事業構造改善費用として計上いたします。

(2) 減損損失

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社グループは当期末において一部店舗の固定資産減損処理を実施し、減損損失として66百万円を計上いたします。

(3) 投資有価証券評価損

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、当期末において株価が著しく下落した株式について回復可能性を検討した結果、減損による投資有価証券評価損57百万円を計上いたします。

(4) リース解約損

リース契約の解約に伴うリース解約損23百万円を計上いたします。

(5) 資産除去債務

「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)の適用に伴う影響額9百万円を計上いたします。

(6) 固定資産除却損

連結において、店舗改装等に基づく固定資産除却損9百万円を計上いたします。

(7) 貸倒引当金繰入額

当期の個別決算において連結子会社の財政状態が悪化したことにより、関係会社貸付金等に対して貸倒引当金繰入額231百万円を計上いたします。

なお、当該貸倒引当金繰入額は、内部取引として消去されるため、連結業績数値には影響いたしません。

2. 平成23年3月期通期連結業績予想と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	39,500	△ 670	△ 620	△ 540	△ 27.20
実績値(B)	38,245	△ 843	△ 785	△ 1,207	△ 61.13
差額(B-A)	△ 1,255	△ 173	△ 165	△ 667	—
差額率(%)	△ 3.2	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	39,228	△ 398	△ 322	△ 460	△ 23.17

3. 平成23年3月期通期個別業績予想と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	36,200	△ 630	△ 410	△ 380	△ 19.14
実績値(B)	35,170	△ 788	△ 562	△ 1,096	△ 55.50
差額(B-A)	△ 1,030	△ 158	△ 152	△ 716	—
差額率(%)	△ 2.8	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	36,743	△ 101	164	△ 294	△ 14.80

4. 差異が生じた理由

(連結)

主に個別業績予想の理由によるものであります。

(個別)

売上高は、「ライフスタイル」マーケットでの価格競争激化による販売単価下落の影響や、3月に発生した「東日本大震災」の影響もあり、前回予想を下回ることになりました。利益面は在庫処分損が増加したことにより、売上総利益が大幅減となり、営業利益、経常利益、当期純利益は、前回予想を下回ることになりました。また、当期純利益につきましては、特別損失を計上したことに加え、繰延税金資産の回収可能性について精査しました結果、繰延税金資産の一部を取り崩すことになったため、前回予想を下回ることになりました。